



ぐるなびの店舗開発事業 HANEDA INNOVATION CITY（羽田イノベーションシティ）の 飲食エリアをプロデュース

～「いつも使い×地域の食の発信」をコンセプトに2022年11月末オープン予定～

株式会社ぐるなび

2022年09月15日

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎 以下、ぐるなび）は、飲食店、商業施設、ユーザーをつなぎ、「食」による継続的な販売の場を創出する店舗開発事業を2021年4月より始動。2022年4月に開業した「CentTerrace TENMONKAN（センテラス天文館）」（鹿児島県鹿児島市）、2022年5月に開業した「Maruei Galleria（マルエイ ガレリア）」（愛知県名古屋市）に続き、「HANEDA INNOVATION CITY（羽田イノベーションシティ 以下、HICity）」（東京都大田区）の飲食エリアをプロデュースすることをお知らせいたします。

本事業は、ぐるなびが持つ飲食店ネットワークと蓄積された飲食に関するデータを活用し、商業施設の飲食エリアにおいて、コンセプト設計から飲食店誘致、店舗構築、フロア運営まで総合的にプロデュースをする事業です。ぐるなびが、飲食店へ地場紹介や運営フォローを行うことにより、事業規模を問わず、飲食店経営者へ出店機会を創出すると同時に、商業施設にとっても、これまでは誘致が困難であった中規模の飲食店や地で伸び活躍している飲食店などを誘致することが可能になります。

今回のHICityの飲食エリアは、飲食店からメニューや使用する食材を提供いただく新たなモデルを取り入れます。これにより全国の飲食店が店舗を構えずに販路拡大でき、日本中の魅力ある食を集積して発信していきます。さらに、ぐるなびが提供するモバイルオーダーサービス「ぐるなびFineOrder」や店内状況可視化サービス「飲食店LIVEカメラ」、配膳ロボットなどを活用し先端的な店舗運営を進めてまいります。

まずはHICity内のオフィス、ホテル、イベント施設の利用者をターゲットとし、「いつも使い×地域の食の発信」をコンセプトに2022年11月末にオープン予定。HICityのグランドオープンである2023年度にはインバウンド需要の回復も見込み、地域の食文化発信の場となることを目指します。

ぐるなびは、「食でつなぐ。人を満たす。」という存在意義（PURPOSE）のもと、事業を推進しています。今後も「飲食店経営サポート企業」としてさらなるサービスの拡充を図ってまいります。

■飲食エリア概要

面積 : 約260坪
座席数 : 約300席
スケジュール : 2022年11月末開業予定

■「HANEDA INNOVATION CITY（羽田イノベーションシティ）」概要

プロジェクト名：羽田空港跡地第1ゾーン整備事業

事業主体：羽田みらい開発株式会社

所在地：東京都大田区羽田空港一丁目1番4号

敷地面積：約5.9ha ※羽田空港跡地第1ゾーン全体では約16.5ha

延床面積：約130,000㎡

規模：地上10階・地下1階

駐車場：約200台（2023年7月以降約300台）

設計者：鹿島建設株式会社・大和ハウス工業株式会社

施工者：鹿島建設株式会社・大和ハウス工業株式会社

スケジュール：まち開き（先行開業）2020年7月3日

グランドオープン 2023年度

